文書番号: KEM0702-10

2018年度 環境活動レポート

【対象期間:2018年4月 ~ 2019年3月】

2019年 5月13日

株式会社光機商会

当社は、次の環境方針に基づき、環境活動を行っております。

環境方針

株式会社光機商会は、事業活動を行うことにより、環境への影響が重大であることを認識するとともに、持続可能な社会形成を必要不可欠と確信します。

以上を踏まえ当社は、社員一人一人が問題意識を持って行動し、地球環境の保全及び地域社会への貢献を目指すべく、環境経営システムを構築し、実施・運用し、継続的改善を行うことを目的に、以下の通り環境方針を定めます。

- 1. 事業活動における地球環境保全の具体的取組
 - ①顧客とメーカーのパイプ役として環境負荷低減に寄与する取扱い商品(エネルギー消費計測機器・省エネ機器等)の情報提供に努め、積極的に販売し広く世間でご使用いただくことにより環境負荷低減を目指します。

また顧客のグリーン調達への対応の為納入品の環境有害物質の管理及び情報提供(化学物質安全性データシート等)を行います。

- ②事業活動に伴い使用する資材及び消費するエネルギーの使用状況を定期的にチェックし、 効率的利用に努めます。
- ③地球環境保全に役立つ環境配慮商品の購入を推進します。
- 2. 環境関連法規等の順守

環境関連法規制及び当社が同意するその他の各種協定等を順守します。

3. 地域社会貢献活動の推進

環境活動レポートの公表、本社周辺の清掃活動等を通して、地域社会の一員として地域社会に貢献するように努めます。

4. 継続的改善の実施

事業活動に伴い環境に与える影響を的確に把握し、技術的·経済的可能性を考慮の上で環境目標を設定し、実施し、見直し、評価し継続的改善に努めます。

5. 環境方針の周知及び公開

本方針を全従業員に周知徹底します。

本方針を一般の方よりの要請に基づき、又、当社のホームページ上に公開します。

2014年5月12日 株式会社光機商会 代表取締役 河本泰

【事業の概要】

①事業者名

株式会社 光機商会 代表取締役:河本 泰

②所在地

広島県広島市南区翠五丁目6番17号

TEL : 082-251-1256 FAX : 082-251-0529

URL : http://www.kohki-shokai.co.jp/
e-mail : daihyou@kohki-shokai.co.jp

③環境管理責任者

氏 名 : 山本亮

TEL : 082-251-1256

④事業規模

資本金: 3,200万円

		2016年度	2016年度 2017年度	
		(16年4月~17年3月)	(17年4月~18年3月)	(18年4月~19年3月)
売上高	百万円	894	969	(1,003)
従業員数	人	16	16	14
延床面積	m²	842	842	842
車両保有台数	台	11	11	10

※2018年度売上高は未確定の為、現状は()としております

⑤事業内容

産業機械、制御機器

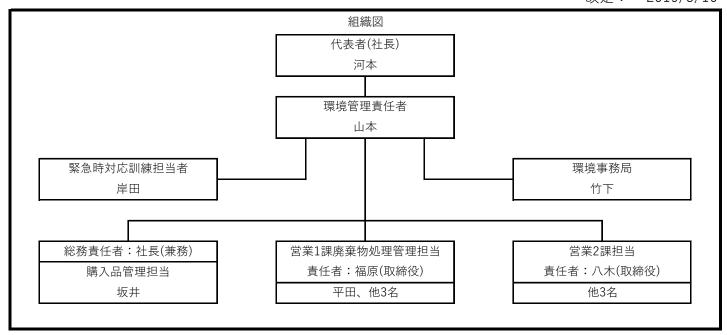
電気・電子部品、配管材料の販売

【対象範囲】

全組織・全活動

組織図及び役割・責任・権限表

改定: 2019/5/10



担当者	役割・責任・権限
社長	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、資源、費用、専門技能・技術者を用意 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標及び環境活動計画記載の環活動計画書の承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施
環境管理責任者	 ・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・環境関連法規制等一覧表の作成 ・環境目標の設定 ・環境活動実施計画書(中期)及び環境活動計画書(単年度)の作成 ・教育訓練計画書の作成及び従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動の取組状況の確認・評価 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施
環境事務局	・環境管理責任者補佐・環境関連の外部コミュニケーションの窓口・環境経営システムに関する資料の管理・環境活動実施結果の実績集計
緊急時対応訓練担当者	・緊急事態の特定及び緊急事態対応訓練計画・実施
担当業務責任者	・担当業務範囲における環境経営システムの実施 ・担当業務範囲への環境方針の周知 ・担当業務範囲における環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況の確認・評価環境管理責任者 への報告 ・担当業務範囲における運用手順書の作成及び手順に基づく運用管理 ・担当業務範囲に関連する緊急事態対応のための手順書作成、テスト・訓練・記録
全従業員	・担当業務の問題点の発見、是正、予防処置 ・環境方針を理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

【主な環境負荷の実績】

項目		2016年度	2017年度	2018年度
		(16年4月~17年3月) (17年4月~18年3月) (18年		(18年4月~19年3月)
二酸化炭素排出量	kg-CO2/年	43,617	42,257	37,997
廃棄物排出量	kg/年	1,582	2,145	2,252
総排水量(上水使用量)	㎡/年	242	238	225

[※]二酸化炭素排出量は平成26年度中国電力排出係数(0.706kg-CO2/kWh)を使用

【環境目標及びその実績】

年度		基準値	2017年度	2018年度		2019年度	2020年度
項目		3年平均 ('15~'17年	実績	目標	実績	目標	目標
ガソリン削減	燃料消費率	12.7	12.7	12.8	12.7	13.0	13.1
	(km/ℓ)						
	増減率		0%	1%	0%	2%	3%
	総使用量	15,602	14,807	15,446	16,680	15,290	15,134
電力削減	(kWh)						
	増減率		1 %	1 %	7%	▲2%	▲3%
廃棄物排出量削減 (1人当り)	重量	139	136.7	138	153.3	136	135
	(kg/人)						
	増減率		▲ 42%	1 %	10%	▲2%	▲3%
環境配慮型商品 販売拡大	売上高(千円)	16,625	20,149	16,791	19,232	16,958	17,124
	増減率		21%	1%	16%	2%	3%
グリーン調達 購入推進	購入割合(%)	- 80.0	83.0	80.8	84.2	81.6	82.4
	増減率		4%	1%	5%	2%	3%
コピ-用紙削減 (1人当り)	購入量(kg/人)	28.7	27.0	28.4	36.9	28.1	27.8
	増減率		▲ 6%	1 %	29%	▲2%	▲ 3%
社会貢献活動の推進	会社周辺掃除	1回/月	0	1回/月	0	1回/月	1回/月
	近隣公園掃除	1回/年	0	1回/年	0	1回/年	1回/年

総排水量(節水)については量的に少なく、取組みによる削減効果が見込めないため維持活動とし、 数値目標は設定しない。

【環境活動の取組み計画と評価(単年度)・次年度の取組内容】

取組計画		李叶仆加	環責者による評価	
以組計画	達成状況		次年度の取組内容	
が ソリンの削減 ・急発進、急加速、急プレーキを行わない ・エアコンの使用を最小限とする ・余分な荷物を積載しない ・暖房のみ使用の場合はA/Cを 切る	目標: ('15~'17年 実績:	12.8km/ℓ 度平均比1%UP) 12.7km/ℓ	目標に対して僅かに未達 下期だけ見ると達成をしている のでA/Cを切った暖房の効果等 があったと考えられる	
電力の削減 ・空調機の適正温度の設定 (夏28°C以上、冬18°C以下) ・不要照明の消灯 ・パソコンの省エネ機能の活用	目標: 実績:	15,446kwh 16,680kwh	目標に対して未達 17コン新設による影響が大きいが、温度設定は無理のない範囲で省球推奨の温度設定で使用省球を意識した行動は引続き実施していく(扇風機を活用した空気の循環、衣服の重ね着等)	
<u>廃棄物排出量の削減</u> ・梱包材、ダンボールの再利用促進	目標: 実績:	139.2kg/人 153.3kg/人	目標値よりも+10%となり、大幅な未達となった 保管期間が過ぎた書類を纏めて 処分した影響が要因の一つだったので、次年度以降は定期的に 処分するよう徹底する	
環境配慮型商品の販売拡大 ・ エネルギー消費計測機器 ・ 省 エネ機器	目標: 実績:	16,791千円 19,232千円	目標は達成 対象機器の拡大を考慮する 例)/ンフロンタイプの盤用クーラー・LED照 明等	

【環境活動の取組み計画と評価(単年度)・次年度の取組内容】

取組計画	達成状況	環責者による評価 次年度の取組内容
<u>が リーン調達の推進</u> ・環境配慮型商品の調査・購入 促進		目標は達成 従来通り対象製品の調査等現在 の活動を継続し目標の達成を目 指す
コピ-用紙の削減 ・裏紙使用の徹底 ・ミスコピ-防止の徹底 ・縮小組合せコピ-の推進	目標: 28.4kg/人 実績: 36.9kg/人 2005年度比 41%減	目標を大幅に未達 顧客要望により提出資料が増え、必然的に使用量が増えているが、今までの活動を継続していくまた、データでのFAXやメールの活用を意識していく
社会貢献活動の推進 ・会社周辺の清掃 1回/月 ・近隣公園の清掃 1回/年	日常的に周辺の清掃を実施	日常的に会社前の道路清掃を行い、会社周辺と公園の清掃は年末に全員で行った

総排水量(節水)については量的に少なく、取組みによる削減効果が見込めないため維持活動とし、 数値目標は設定しない。

【環境関連法規への違反、訴訟の有無】

当社事業活動に於いて環境関連法規等(廃棄物処理法、消防法、広島市廃棄物の処理及び 清掃に関する条例等)へも違反の有無を確認したところ違反に当たるところは認められま せんでした。また、訴訟及び関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

【代表者による全体評価と見直しの結果】

環境目標の中には業務上の理由により、大幅に未達の項目がありましたが、引き続き少しでも環境負荷を低減できる様、社員一同努力いたします。

また、社有車については低燃費を図ると同時に安全対策として、いわゆる『サポカー (セーフティ・サポートカー)』を積極的に導入する予定です。